

令和2年度

阿波市立一条小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 学習規律の徹底と、個に応じた指導の実践
- ホワイトボードやタブレットの効果的な活用による、主体的・対話的で深い学びの実践

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員 小島 愛

委員 校長 吉本 俊二 教頭 南郷 孝嘉
主幹教諭 佐藤 規孝
研修主任 佐藤 雅子
特別支援コーディネーター 市岡 美知枝
市学力向上推進講師 林 慎二

校長

吉本 俊二 印

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○漢字の読み書きや計算の基礎・基本については、単元終了直後には、ある程度の定着が見られる。 ●語彙力や表現力(書くこと)・読み取る力に課題が見られる児童が多い。	・基礎的・基本的な知識・技能が確実に身につけている。 ・語彙力を高め、正確に文章を読んだり書いたりすることができる。 ・注意深く聞き、内容を理解することができる。	・モジュールを有効活用し、「読む」力を育む時間を全校で確保する。 ・ICTを活用した「わかる授業」の推進とイメージ力の強化。 ・国語辞典の利用を習慣づける。 ・小テストの正答率を80%以上にする。 ・詩の暗唱やアンソロジーに取り組む。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○ペア・グループ学習などで、自分の思いや考えを発表する児童が見られる。 ●自分の考えや思いを筋道を立ててその場で説明したり、その時に文章を書いたりすることには課題がある。	・自分の思いや考えを整理して伝え合うことができる。 ・進んで本を読み、想像力を高めたり、知識を増やそうとする。	・1分間スピーチなど表現する機会を設ける。 ・自分で考える時間を設け、その後の協働学習を通して、自分の考えを筋道立てて書いたり話したりする機会を増やす。 ・書く習慣をつけるため、日記や視写、新聞ノートなどに取り組ませる。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○与えられた課題にまじめに取り組む児童が多い。 ●学習に根気強く取り組んだり、疑問に思ったことを追求しようとする意欲が少ない。	課題や自主学習に積極的に取り組み、学ぶ楽しさや喜びを感じ取ることができる。	・体験活動を取り入れるなど、日々の授業改善や授業力向上に取り組む、興味関心を学習意欲につなげる。 ・「家庭学習のすすめ」や学年通信を活用した家庭への働きかけを行う。 ・放課後学習や補充学習を充実させる。			

令和2年度 学力向上ロードマップ



